

令和 4 年 11 月

11 月に入ると季節の移ろいは早く、今月半ばにはナイヤガラ地域で初めての大雪がありました。

同時にこの季節はカナダでは様々なチャリティー・イベントが各地で開催されます。私は本年度の外務大臣表彰を受賞したタイガー・ジェット・シン氏の財団が主催するミルトン、ブランプトンでのチャリティー・イベントに参加してきました。寒空の中でしたが、バンドの演奏や屋台が立ち並び、皆で持ち寄ったお子さん向けのおもちゃが配布され、多くの家族連れがイベントを楽しんでいました。タイガーが 10 年以上前に、このような催しを始めたときは、「おまえはインド人だろう。なぜ、サンタ・クロースをやるのだ。」といわれたそうです。今では、地元の人々はみな、このイベントを楽しみにしているとのことです。12 月に向けてこのような催しが数多く開催されることでしょう。



[TJS チャリティー 写真1]



[TJS チャリティー 写真2]

中島章爾トロント商工会元専務理事に対する外務大臣表彰の伝達

11 月 7 日、中島元専務理事に対する本年度外務大臣表彰の伝達を同氏のご自宅で行いました。中島氏は 1989 年から 2006 年までの 17 年間の長きにわたりトロント日本商工会専務理事を務められました。またトロント補習校の常任運営理事も 20 年以上務められました。現在の商工会、補習校の運営の基礎を築かれた方です。

伝達式には現在の商工会の日高会長、伊東専務理事にもご同席いただきました。式の後、中島氏のご家族も加わり専務理事としてご活躍された時代の思い出話を伺いました。中島元専務理事ご自身は富士銀行(当時)のご出身です。同行トロント支店

長を務められた後、トロントに在住されています。かつての補習校は校舎が二つある時代もありこの間邦人数、日系会社数の増減も経験されておられます。現在のトロントの邦人社会は中島氏のような先人たちのご努力の上に成り立っていることを痛感した次第です。今年8月の報告で、3名の方の外務大臣表彰をご報告しましたが、中島氏の表彰で、今年度は4名の表彰となりました。本年はトロント日本商工会設立65周年にもあたり、記念すべき年の表彰となりました。



外務大臣表彰を受賞した中島氏(写真右)と佐々山総領事

中島氏のご自宅でコーヒーと自家製チーズケーキをご馳走になりました。

ミシュラン・スターシェフの皆様への在外公館長表彰

本年9月、レストランガイドで世界的に有名なミシュラン社は初めてとなるトロントのミシュランガイドを発表しました。いわゆる星を獲得したレストランはトロント地域で13店に上りましたが、そのうち5店は日本食レストランでした。和食はユネスコ無形文化遺産に登録されていますが、その振興は日本政府の政策の1つです。

和食はすでにトロントにおいて大きなうねりとなっています。今回の件はさらに和食がトロントで注目される契機ともなることでしょう。日本の総領事として、5名のシェフの皆様には表彰を行うこととし11月、表彰を行いました。いずれのシェフも、これまで和食の素晴らしい経歴をお持ちで、和食の振興には今後とも欠かすことのできない存在の方ばかりです。

今後さらに和食の人气が広がり、和食の楽しみ方、味わい方が理解されることを期待したいと思います。またこのような才能にあふれるシェフの皆様が後輩や関係者に対して和食の伝統をさらに広めていただくことを期待したいと思います。



在外公館長表彰を受賞したミシュランシェフ4名と佐々山総領事(左から中川龍介氏、齋藤正樹氏、佐々山総領事、ジャッキー・リン氏、井筒大介氏)

在外公館長表彰を受賞した橋本一家(左から橋本馨氏、橋本幸子氏、橋本昌樹氏(受賞者)、佐々山総領事、橋本昌幸氏)

トロント日本商工会主催「日系企業就職情報フェア」

11月27日、トロント中心部のトロント市役所の施設で初めてとなるトロント日本商工会主催による日系企業就職情報フェアが開催されました。トロント周辺の学校では日本からの多くの学生さんが学ぶとともに、様々な年齢層、背景をお持ちの日本語学習者が数多くいらっしゃいます。今まで日本語を活用して就職するには学生さんは、ご自身で個別の努力を行う必要がありましたが、トロント日本商工会として日本企業にお声掛けし、また日本語を話す学生及び就職を希望する在住日本人を中心に、この就職情報フェアについて案内し、就職希望者と会社側が出会う場を設けることとしたとのことです。これは、カナダにおいて初めての試みです。

当日は午前中から現役の日本人ビジネスマンによる討論会が開催され、仕事内容や仕事のやりがいなどを学生やワーキングホリデー滞在者向けに熱く語っておられました。15近くの日本企業がブースを設け求職者との面談を行いました。会場は企業関係者、求職者や学生で溢れ熱気を感じました。求職者、学生、企業側ともに、和や

かながら真剣な表情で話し合う姿が印象的でした。最終的には 300 名近い在住日本人及び学生の参加登録があったとのこと。北米地域においてはボストンの就職フェアが有名です。今回は初めての開催ですが、このような催しが今後も続けられ、企業側、就職を希望する在住日本人や学生側の双方にとり有益な機会となることを願っています。



[就職情報フェア 写真1]

[就職情報フェア 写真2]